

# さくら教室だより

令和6年1月15日  
東久留米市立第九小学校  
校長 山本 真美枝  
特別支援教室 担任



## 新しい年が始まりました



令和6年が始まり、早くも2週間が過ぎました。

子どもたちを見ている、新しい気持ちでスタートを切れたように感じます。3学期はまとめの学期です。これまで培っていた力を学級でさらに発揮できるように支援していきます。



### 3学期の大まかな予定

1月15日（月）：指導開始

2月13日（火）：3学期個人面談 始

3月13日（水）：3学期個人面談 終

：指導終了

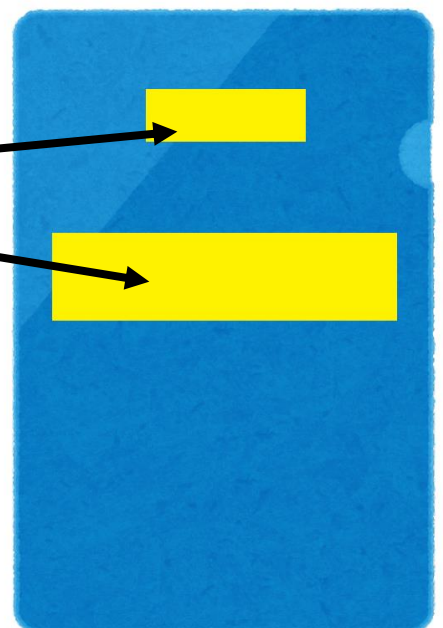
3月15日（金）：巡回終了

※3学期個人面談のお知らせは、近日配布予定です。

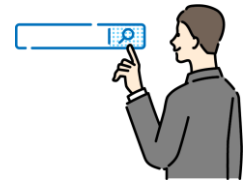
### さくら教室からのお願い

青ファイルを忘れた児童に、青クリアファイルを貸し出しています（透明のクリアファイルの場合もあります）。表面に「No.〇〇」という数字と「このクリアファイルはさくら教室にお戻しく下さい」というメッセージが入った黄色いテプラが貼ってあります。

約20枚あったクリアファイルですが、現在、半分ほどになってしまいました。ご家庭でお持ちの方は、早急に学校へお返しく下さい。また、後日、個別にお声掛けさせていただく場合もございますので、ご了承ください。



# 【さくら教室のちょこっとコラム】



## ○文字の苦手さ

さくら教室には、文字が苦手という理由で通ってくる児童もいます。一概に苦手といっても、「読むのが苦手」、「書くのが苦手」、「覚えるのが苦手」と様々です。以下に、さくら教室でも実践している学習方法や支援方法を紹介します。

### ○読むのが苦手

読むのが苦手な児童には、以前紹介したリーディングルーラーや拡大コピーした教科書を使った音読練習などもいいですが、読み聞かせも有効です。読むのが苦手な児童がどんな感覚なのか、右に例を示しています。時間をかけて読むことはできますが、それでもかなりの労力です。そこで、視覚だけに頼らず、手本の音読を録音し、音で覚える方法もあります。

また、目の動きはどうかなど専門家の意見をもらうのも、非常に大切なことです。読み飛ばしや読み違いがないかなど、音読の宿題をやっているときに気を付けてみてください。何か気になることがあればご相談ください。

次に示す置き換えのルールに則り、以下の文章を3秒以内に読んでください。

◇=あ ○=ま △=お ★=た

◇け○して△めでとう。◇○△うを★べて、◇し★○★◇△う。

このように、文字と音をうまくリンクさせられない児童がいます。読むことが苦手な児童の困り感を疑似体験できたでしょうか？

### ○書くのが苦手、覚えるのが苦手

書くのが苦手な児童は、様々な背景が考えられます。例えば、漢字を書くという苦手さも、運動面からくることがあります。工作や刺しゅう、塗り絵などをして手先の巧緻性を高めたり、身体全体を動かして感覚統合を促したりすることで字形が整ってくることもあります。また、感覚が鈍く、うまく書けないときは、下敷きの代わりにざらざらしたもの（目の粗い紙やすりなど）を敷くと、書いている感覚がより鮮明になり効果が上がる場合があります。

また、字の線がどのように重なっているのかよく分からない場合には、粘土などで字を立体的に作ると理解が進んだり、背中や手に指で字を書いてもらうなど触覚を活用した覚え方もあります。他には、絵描き歌のようにして覚えたり、とにかく大きなマス目でゆっくり数回練習したりすることも有効です。逆に、現在では、何度も何度も書いて覚えるのは、書くことが作業になってしまうだけで、覚えることには逆効果であるといわれています。一つの漢字を30回書いて練習するよりも、30個の漢字を1回ずつ練習した方が、定着率は高くなるそうです。

さらに、漢字カルタのようなゲームで漢字に親しむことも苦手な子にとってはハードルが下がり、とても大事です。

